

つしん日和 びより

Vol.97
2024.7

企業紹介

保険薬局

スタンフィールド株式会社



代表取締役 立野 朋志氏

スタンフィールド株式会社は、2023年に創業。同社の運営する「さくらさく薬局」(苫田郡鏡野町寺元)は、「処方箋がない時も来られる場所」を目指し、店内に一般用医薬品や健康に関する資料を多数取り揃えた相談カウンターを設置。「病院に行くほどではないけど、最近気になっていることについて相談したい」「最近



▲店舗外観。「さくらさく薬局」という名前は、「顧客の健康に合格通知を送りたい」という思いから名づけられた。小児科・内科の門前に位置しており、近隣には町営の大きな病院もある。子供から親世代、高齢者まで幅広く対応できる。

始めた健康食品のことについて教えてほしい」など、些細なことでも気軽に相談できる「かかりつけ薬局」として、疾病に対する医薬品の提供のみならず、予防や健康の維持・増進といった地域密着型のトータルヘルスケアができる薬局を目指している。

また、LINEによる処方箋の受付など、新しい技術も積極的に取り入れており、待合室には絵本や雑誌のほか、ロボットペットLOVOT(らぼっと)が導入されている。子供から大人まで、待ち時間も退屈せずにリラックスして過ごすことができる。



上/立野代表とさくらさく薬局で働く方々
左/ロボットペットLOVOTの「さくら」。待合室で触れ合うことができる。

スタンフィールド株式会社/さくらさく薬局
住所：岡山県苫田郡鏡野町寺元 341-7
TEL：0868-54-7188

定休日：土曜午後、日曜、祝日
営業時間：9:00～18:00
◆土曜 9:00～13:00

HPは
こちら



ドッグフード、はちみつ製造・販売

田舎の逸品本舗



代表 寒竹 貴博氏



▲美咲町藤田上の店舗。敷地内には無料で利用できるドッグランもある。愛犬と訪れてみては。(来店時は要事前連絡)

田舎の逸品本舗(久米郡美咲町藤田上)は、ジビエのドッグフード「わんこのおやつ」や「純粋はちみつ」の製造・販売を行っている。

愛犬に安心・安全な食品を食べさせてあげたいという思いから、「わんこのおやつ」には調味料・着色料・香料・保存料などの添加物を一切使用していない。新鮮な自然の恵みをそのまま楽しめる商品づくりを心がけており、原料となる鹿や猪は猟師から直接仕入れ、人間でも食べることが出来る程に新鮮なものを使用している。

鹿肉は高たんぱく・低カロリー！低脂肪でダイエット中のワンちゃんやシニア犬にもおすすめ。鉄分・ミネラルなどの栄養も豊富で、鹿肉に含まれているDHAは毛並みや艶を良くする効果があると言われている。



犬用鹿ガム。愛犬のストレス発散にもおすすめ



自然の恵みがぎゅっと詰まった純粋はちみつ

また、同店では手作業で濾過のみを行った無添加・非加熱・無加工の希少な国産はちみつ「純粋はちみつ」も販売している。養蜂をする場所の選定からこだわり、農薬などの影響を受けない美咲町の山間部で養蜂を行っており、野山で様々な種類の花から集められたはちみつは、栄養価が高く風味豊かで、深いコクと上品な甘味が特徴。

「わんこのおやつ」「純粋はちみつ」ともに通信販売もしくは美咲町にある店舗で購入することが出来るほか、ドッグイベント等への出展も行っている。(来店時は要事前連絡。HPかインスタグラムのDMから。)

これからも美咲町の豊かな自然の恵みを通じて、多くの人とそのペットに笑顔を届けていく。

田舎の逸品本舗

住所：岡山県久米郡美咲町藤田上 451-1

定休日：土曜・日曜・祝日

営業時間：10:00～17:00

※店舗にご来店の際は事前にご連絡ください。

Instagramはこちら



「第62回岡山県信用金庫野球大会」で 当金庫野球部が優勝しました！

5月18日(土)に、備前市日生運動公園にて「第62回岡山県信用金庫野球大会」が開催され、当金庫野球部が優勝しました！

一回戦、水島信用金庫に4-10で勝利した当金庫野球部は、続く準決勝も玉島信用金庫に8-2で勝利。決勝戦に進み、おかやま信用金庫と対戦しました。決勝戦では、二宮支店の藪脇支店長が先制3ランホームランを放ち、さらに本店の金田職員が



上／当金庫野球部員

下／最優秀選手賞を獲得した金田職員

ソロホームランで追加点を獲得。投げては美作支店の井上支店長代理が要所を締め相手打線を2点に抑え、4-2で見事優勝をおさめました。金田職員は最優秀選手賞を獲得。優秀選手賞には藪脇支店長が選ばれました。優勝した当金庫野球部は、秋に開催される「中国地区信用金庫野球大会」へ出場します。次も優勝を目指して頑張りますので、皆さまぜひ応援をお願いいたします。

「第37回つしんさくら会 日帰り旅行」を開催しました

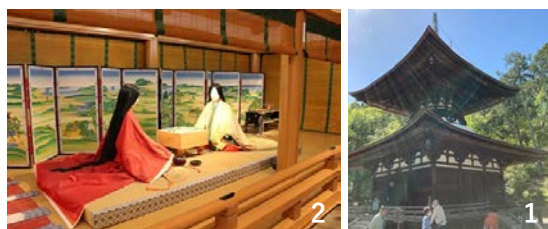
5月15日(水)、16日(木)、17日(金)の3日間で、当金庫で年金を受給されている方を対象とした「第37回つしんさくら会日帰り旅行」を開催しました。

今年は「源氏物語ゆかりの地を巡る旅」をテーマに、宇治市立源氏物語ミュージアム、琵琶湖ホテル(昼食)、石山寺の3か所を巡りました。石山寺は紫式部が滞在中に源氏物語を起筆したという伝説で知られており、国宝である本堂には紫式部が筆を執ったとされる「源氏の間」があります。

参加された方からは、「展示が興味深かった」「歴史を感じる景色に感動した」と沢山のお喜びの声をいただきました。



▲紫式部が源氏物語を起筆したとされる石山寺。京都の清水寺、奈良の長谷寺と並び三観音と呼ばれ、霊験あらたかな仏様として信仰を集めてきた。



1/国宝に指定されている本堂
2/宇治市立源氏物語ミュージアム

「つしん福祉人材養成 奨学金授与式」を 開催しました

6月10日(月)、当金庫本店にて、つしん福祉人材養成奨学金制度に係る奨学金授与式を開催しました。

本制度は美作大学生活科学部社会福祉学科または美作大学短期大学部専攻科介護福祉専攻において福祉を学び、卒業後も未永く作州地域で活躍していただける学生に対し、当金庫が奨学金(1人20万円)を授与するもので、2010年度より毎年行っており、今回で15度目となります。今年度も5名の学生に奨学金を授与し、合計73名への授与となりました。



▲授与式の様子

第4期 創業塾

～創業・第二創業支援プログラム～

第1回 **7.24** 水

創業塾とは

持続可能な作州地域を実現するためには、創業者や新事業の育成と円滑な事業承継が必要です。また、円安や物価高騰により新しいビジネスモデルの構築も大切になってきています。

そこで、創業を考えている方、創業後間もない方、法人成りを検討中の方、第二創業（新事業分野展開や事業転換などへの挑戦）を検討している方などを地域内支援機関等が連携してサポートします。

対象者

創業者（予定者・創業後概ね3年以内の方）

第二創業者（新分野展開や事業転換等に挑戦中または検討中の方）など

定員

15名

期間（予定）

2024年7月24日（水）～2024年10月2日（水） 全回午後4時～6時

開催場所

津山信用金庫本店4階大会議室ほか

申込期間

2024年5月27日（月）～2024年7月10日（水）

会費
無料

問合せ先：津山信用金庫 事業所応援部 小賀・米田 TEL:0868-22-4136

美作の国 雑感

～近き者悦び遠き者来る～

理事長 松岡 裕司



津山市には文化庁による重要伝統的建造物群保存地区として城東と城西の2か所が指定されています。先月、春はつやまの最終イベントとして城東地区で「令和作州城東むかし町」が開催され2万人以上の賑わいを見せたそうです。一方、城西地区でも「城西まるごと博物館フェア」が毎年秋に開催されており、両地区ともに地域の住民が自分たちの住む街の歴史や文化財を改めて認識する機会として、又、訪れる皆さまと共にウォークラリーや屋台飲食など様々な出し物を楽しんでいます。

「近き者悦び遠き者来る（論語）」は2千年以上前の中国の思想家孔子の言葉で「近臣が悦んで仕えるような政治を行えば、その名声を聞いて遠くから人材が集まり、国の力にもなる」と言う教えです。自治体や企業のトップの姿勢として非常に示唆に富んでいます。これをまちづくりの指針として明確に掲げているのが「のれんが揺れる城下町・真庭市勝山のひな祭り」です。町内の人たちが日常として楽しんでいる生活を来訪者にも分けとあげると言う誘客観光の考え方として注目されており津山市観光協会のモットーでもあります。

今年、3月と4月の月間インバウンド数は3百万人を超えました。作州地域からたった2、3時間しか離れていない京阪神地区に神戸市民の倍の数の外国人観光客が押し寄せているのです。私たち中山間地域で深刻な問題、人口減少による経済の縮小は交流人口の増加でも救えるのです。日本の歴史や文化、人々の優しさ、秩序正しさ、食事の美味しさなど世界の人々が惹かれ、日本詣でがブームになっているのです。

皆さん頭の切り替えをしましょう。今、手の届く場所に月間3百万人以上の外国の方々がいるのです。この変化を私たちは其々の立場で取り込むことで「新たな付加価値」を創造できるのではないのでしょうか。これからは個々人の想像力と実行力の勝負です。

公式 Instagram

つやつや

< 津山信用金庫 >

フォロー&いいね
お待ちしております！



LINE



LINEの
お友達登録も
お願いします！



※つしん日和に関するご意見・お問い合わせは当金庫HP「お客さまの声」からお願いたします。

編集発行：事業所応援部

TEL:0868(22)4136

FAX:0868(22)8637

MAIL:s1735017@facetoface.ne.jp

(つしん日和第97号:2024年6月25日発行)